

東日本大震災に関するアーザーディ・スタジアムでの被災者追悼セレモニー 2011年3月30日

1. 3月30日、アーザーディ・スタジアムで開催された国内プロサッカーリーグの試合（エステグラール対ペルセポリス）にて、東日本大震災の被災者追悼セレモニーが行われました。
2. 試合開始10分前には、駒野全権特命大使が会場内に紹介され、イランプロサッカーリーグ協会のモハンマディー会長の付添いのもと、試合前に整列した選手一人ひとりと握手を行い、その際、会場内に「被災した日本の方々へ深い哀悼の意を示します」とアナウンスされました。
3. 試合開始直前、会場内アナウンスに従い、出場選手がセンターサークル上で一つの輪を作り、会場全体で被災者に対する黙祷が1分間行われました。
4. 試合会場には、今回の地震及び津波による被災者への哀悼の意を示す立て看板3種類（ペルシャ語・英語・日本語）が掲げられました。

